

看護の全実習科目を網羅した「臨地実習 VR パッケージ」提供開始！

JOLLYGOOD+にて 100 点以上の VR を提供開始

株式会社ジョリーグッド（東京都中央区、代表取締役：上路 健介、以下ジョリーグッド）は、看護師養成機関の学生が臨地実習に必要な看護技術の全てを VR で体験学習できる「看護臨地実習 VR パッケージ」（以下、本パッケージ）を医療 VR プラットフォーム「JOLLYGOOD+（ジョリーグッドプラス）」上で本日より提供を開始いたします。



■ JOLLYGOOD+「看護臨地実習 VR パッケージ」とは

JOLLYGOOD+ (<https://jollygoodplus.com/>) は、600 本以上の医療現場の VR コンテンツを 1 対多の講義やセミナーで直感的に簡単に運用できるサービスです。すでに累計 250 以上の全国の教育機関、医療福祉施設で導入されています。

本パッケージは、看護教育のテクノロジー活用における第一人者である福岡大学看護学科の大田博准教授の監修のもと、厚生労働省の「臨地実習において看護学生が行う基本的な看護技術の水準」に準拠する実習科目全てに対応した、看護教育向け VR コンテンツ 100 本とその実習授業をサポートする「進行ガイド」のパッケージです。令和 8 年度から新たに導入される新モデル・コア・カリキュラムへの対応も予定しています。主な提供対象は、看護教育を実施する教育機関や病院、クリニック向けです。

基本的な手順を学ぶ「タスクベース実習」に加え、実際にそれを行う場面や多様な患者さんの視点など体験する「シチュエーションベース実習」を VR でリアルに体験することができます。

厚生労働省指定

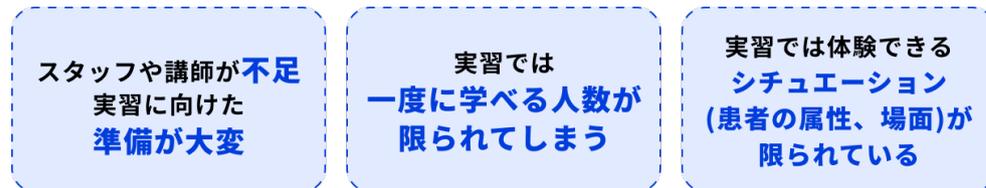
臨地実習において看護学生が身につける基本的な看護技術

レベル・実習項目・タスク/シチュエーションベースごとに全100点以上の臨地実習コンテンツを揃えています

実習項目	タスクベース	シチュエーションベース
LV.1 教員や看護師の助言・指導により学生が単独で実施できるもの		
療養生活環境調整(温・湿度、換気、採光、臭気騒音、病室整備)、ベッドメイキング、リネン交換	・療養環境を整える 看護学実習インシデント編1 ・療養環境を整える 看護学実習インシデント編2 ・療養環境を整える 看護学実習インシデント編3	・入院患者の療養環境 アセスメント入院当日(術前2日) ・入院患者の療養環境 アセスメント術後(2日目) ・入院患者の療養環境 アセスメント術後(5日目) ・療養環境を整える 看護学実習インシデント編1 ・療養環境を整える 看護学実習インシデント編2 ・療養環境を整える 看護学実習インシデント編3
食事介助、栄養状態・体液・電解質バランスの査定、食生活支援	・高齢患者への食事援助 ・危険予知②食事 事例編 ・危険予知②食事 解説編 ・食事拒否 事例編 ・食事拒否 解説編	・高齢患者への食事援助 ・危険予知②食事 事例編 ・危険予知②食事 解説編 ・食事拒否 事例編 ・食事拒否 解説編
自然排尿・排便援助、便器・尿器の使い方 オムツ交換、失禁ケア、排尿困難時の援助 膀胱内留置カテーテル法(管理)	・排泄介助 尊厳を守る時の注意点 事例編 ・排泄介助 尊厳を守る時の注意点 解説編	・排泄介助 尊厳を守る時の注意点 事例編 ・排泄介助 尊厳を守る時の注意点 解説編

■これまでの臨地実習の課題

これまでの臨地実習では、座学に加えてシミュレーターなどを活用した実習が一般的です。しかし、このカリキュラムの作成や実習の準備には、教員の手間と時間がかかります。ただでさえ教員不足が問題視されている今、これらの負担は看護の臨地実習の質や量を大きく低下させる要因となっていました。



JOLLYGOOD+ 臨地実習パッケージで解決!



本 VR パッケージでは、実習前の準備を削減し、手軽に臨床現場に近い体験を決められた進行ガイドに沿って進行することで、教育機関の負担を大幅に軽減し、学生の技術の習得だけでなく、多様な患者さんの属性や場面などを幅広く体験することで、学生の自信につながる経験値を積むことができるように設計されています。

■ 進行ガイド付き！準備や授業の教員負担を大幅に軽減

さらに、パッケージには福岡大学での VR 授業のノウハウを基に作成された「進行ガイド」が付属しており、このガイドに従って授業を進行するだけで、教育者は準備の負担を軽減しつつ、学生の学びを最大化する授業が可能です。また新カリキュラムに対応予定の教材を網羅している為、教育機関は複雑なカリキュラム調整を最小限に抑えながら、質の高い教育を提供できます。

ブリーフィング



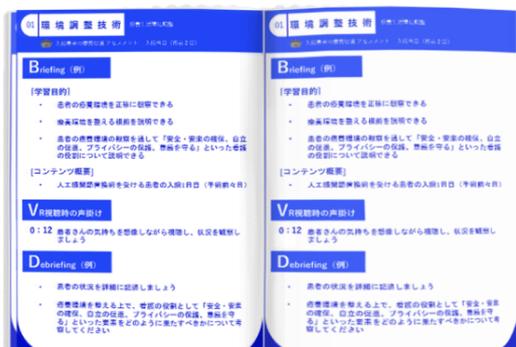
VRで臨地実習



デブリーフィング



事前準備無しで授業・講義を進行することができる
進行ガイド(マニュアル)を用意しております。



進行ガイド 一例

- ▶ 学習項目
療養生活環境調整
- 🗨️ ブリーフィング
[学習目的]
患者の療養環境の観察を通して、安全・安楽の確保、自立の促進といった看護の役割について説明できるようになりましょう
[コンテンツ概要]
人工関節置換術を受ける患者の入院1日目（手術前々日）
- 🔊 VR視聴時の声掛け
0:12 頃 患者さんの気持ちを想像しながら視聴し周りの状況を観察しましょう。
- 🗨️ デブリーフィング
・患者の状況を詳細に記述しましょう
・療養環境を整える上で、看護の役割として安全・安楽の確保、自立の促進といった要素をどのように果たすべきかについて考察してみましょう



■ 福岡大学看護学科 大田博准教授が監修

大田博（おおた ひろし）

福岡大学医学部看護学科、福岡大学大学院医学研究科 准教授

「実習で経験できることには限りがあります。VR を使えば、手術の直前直後、救急搬送時、災害現場など、学生では立ち入ることができない場を疑似体験できます。実習では得られない「経験」を積むことができるのです。

また看護師は、相手の気持ちを考える、空気を読むなど、高いコミュニケーション能力が求められます。本 VR パッケージのシチュエーションベース実習は、高齢者や小さな子どもの視点など、

さまざまな患者の視点を体験できる有効な教材であると同時に、カリキュラム対応の実習に苦慮する教育機関の大きな助けになると思います。」

■第26回日本救急看護学会学術集会にてVR体験セミナーと専用ブースを展開

11月18日（月）から19日（火）に東京ビッグサイトにて開催される第26回日本救急看護学会学術集会にて、本パッケージ監修の福岡大学大田准教授とジョリーグッド代表上路らが登壇し、多人数VR体験セミナーを開催します。本学会イベント会期中は専用ブースにて、本パッケージのVRデモをご体験いただけます。

<多人数VR看護セミナー>

日時：2024年11月18日（月）12:00 - 13:00

会場：東京ビッグサイト 1F レセプションB（第2会場）

テーマ：「VRによるクリティカルケアシミュレーション ～実践に繋げるアセスメント～」

<https://jollygood.co.jp/news/4372/>



The poster features a blue background with white and black text. At the top, the title 'VRによるクリティカルケアシミュレーション' is in white on a black bar, followed by the subtitle '～実践に繋げるアセスメント～' in white on a black bar. Below this, the date and time '2024.11.18(月) 12:00~13:00 / 第2会場 (東京ビッグサイト (東京国際展示場) 1F「レセプションB」)' are listed. Four circular portraits of speakers are arranged horizontally, each with their name and title below. The names are 弦間 昭彦, 大田 博, 山浦 章平, and 上路 健介.

VRによるクリティカルケアシミュレーション

～実践に繋げるアセスメント～

2024.11.18(月) 12:00~13:00 / 第2会場 (東京ビッグサイト (東京国際展示場) 1F「レセプションB」)

弦間 昭彦 日本医科大学 学長

大田 博 福岡大学医学部看護学科 准教授

山浦 章平 福岡大学病院救命救急センター 救急看護認定看護師

上路 健介 株式会社ジョリーグッド 代表取締役

■JOLLYGOOD+「看護臨地実習VRパッケージ」のお申し込み

詳しくはこちらのJOLLYGOOD+専用サイトをご覧ください。

<https://lp.jollygoodplus.com/nurse/>

■株式会社ジョリーグッドについて <https://jollygood.co.jp/>



ジョリーグッドは、高精度なVRソリューションと、VR体験中のユーザー行動を解析するAIによる医療福祉向けサービスを開発するメディカルテクノロジーカンパニーです。VRやAIなどのテクノロジーにより、医療教育や病院業務支援、精神疾患治療など、人の成長や社会復帰を加速し、医療の進化や人の生きがいを支えるサービスを様々な専門機関や企業の皆さまと共に展開しています。

これまで日本では250以上の医療・福祉機関への導入実績があり、米国ハーバード大学やボストン大学、タイのマヒドン大学らとも共同事業を推進しています。

「ひらけ、医療。」プロジェクト



ジョリーグッドが推進するプロジェクト「ひらけ、医療。」は、誰もが医療に参加できる未来を目指すプロジェクトです。日本の医療は高齢化による医療ニーズの増加や医療人材不足といった課題を抱えており、一般の生活者でも医療に参加できる環境構築が新しい医療ヘルスケアに必要だと考えています。

<https://jollygood.co.jp/hirake-iryuu>

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ジョリーグッド 管理部 菊池

Tel: 050-5235-8865

E-mail : press@jollygood.co.jp

以上